

授業科目名	腎・泌尿器疾患患者の看護	担当者	吉開 聡子
単位	—		
時間数	7時間	学年	1学年
授業形態	講義	開講時期	後期
授業の到達目標	疾患、病態を把握し、日常生活の援助と診療時の補助技術について学ぶ。経過別看護を理解し、援助技術を学ぶ。		
授業の概要	腎・泌尿器の機能障害を有する対象の病態生理の知識をもとに、症状・検査や治療を理解し生活の再調整を促す看護について学ぶ。対象の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、対象および家族への援助について学習する。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 共通する看護 腎・泌尿器疾患患者の看護 継続看護(介護力の低下、退院調整支援) 2. 症状に対する看護 3. 検査を受ける患者の看護 4. 治療・処置を受ける患者の看護 5. 腎疾患患者の看護 6. 泌尿器・生殖器疾患患者の看護 7. 生活習慣病に起因する腎疾患患者の看護 		
テキスト	新看護学11 成人看護[3] 医学書院		
評価の方法・基準	終講試験 100点 脳・神経疾患看護のテストとの平均点にて評価		